

英文学専攻 博士課程前期

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシー達成のため、以下の講義科目、演習科目並びに特別研究を置き、学位論文を課す。括弧内はそれぞれのカリキュラム・ポリシーが対応するディプロマ・ポリシーを示す。

- CP1 英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化に関わる専門知識を身につけるための講義科目を置く。(DP1、DP2、DP4)
- CP2 専門分野の論文を読み解き、自ら課題を発見する能力を養うための演習科目を置く。(DP6、DP7、DP8)
- CP3 本学学位規程に定められた基準の修士論文を完成させるための「特別研究」を置く。(DP2、DP3、DP4、DP6、DP7、DP8)
- CP4 学内の専門誌（Veritas や大学院紀要等）への論文の投稿や、大学院英文学専攻課程協議会の口頭発表での、積極的な研究成果の発表を促す。(DP7、DP8)
- CP5 全ての科目においてアクティブ・ラーニングを旨とする。(DP2、DP3、DP5、DP7)
- CP6 大学院英文学専攻課程協議会の研究発表会や修士論文中間発表会において、自分の研究を口頭で明快に伝える訓練をする。(DP7、DP8)
- CP7 修士論文を英語で執筆するため、英語による研究論文執筆の方法を学修する「英語論文作成法・上級」を置く。(DP6、DP7)
- CP8 英語教育の従事者として活躍できる人材を養成するための関連科目を置く。(DP5)